



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社サイバー・バズ 上場取引所 東
コード番号 7069 URL <https://www.cyberbuzz.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 彰典
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 膽畑 匡志 TEL 03-6758-4738
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	2,056	53.4	284	250.9	285	233.7	175	281.7
2023年9月期第1四半期	1,340	18.1	81	134.3	85	142.5	46	781.4

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 175百万円 (281.7%) 2023年9月期第1四半期 46百万円 (781.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	44.19	43.64
2023年9月期第1四半期	11.79	11.46

(注) 2023年9月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年9月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	5,251	2,443	44.1
2023年9月期	5,101	2,258	42.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 2,316百万円 2023年9月期 2,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年9月期	-	-	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,720	16.7	470	20.1	470	14.1	280	36.3	70.46

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	3,987,600株	2023年9月期	3,987,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	13,459株	2023年9月期	13,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	3,974,141株	2023年9月期1Q	3,903,641株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、コロナ禍収束に伴い各業界において回復基調が見受けられ、加えてインバウンド需要の持ち直しもあり、景気は小幅な改善が続いております。一方で、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れが国内の景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開を行う2022年の国内インターネット広告市場は、社会のデジタル化加速が追い風となり、前年比14.3%増の3兆912億円（注1）と推計され、継続的に高い成長率を維持しております。また、2023年の国内ソーシャルメディアマーケティング市場は、前年比17.0%増の1兆899億円（注2）と推計されております。

このような環境の中、当社グループでは「コミュニケーションを価値に変え、世の中を変える。」をミッションとし、「SMM（ソーシャルメディアマーケティング）事業」、「ライブ配信プラットフォーム事業」、「HR（ヒューマンリソース）事業」を展開してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,056百万円（前年同期比53.4%増）、営業利益284百万円（前年同期比250.9%増）、経常利益285百万円（前年同期比233.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益175百万円（前年同期比281.7%増）となりました。

なお、前第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①SMM事業

SMM事業では企業がSNSプラットフォームを通して消費者へ行うマーケティング活動を総合的に支援しており、主に「インフルエンサーサービス」、「SNSアカウント運用」、「インターネット広告販売」を行っております。

「インフルエンサーサービス」では、「NINARY」及び「Ripre」を中心に、当社グループ独自のインフルエンサーネットワークを活用したプロモーション施策の企画提案を行っております。

「SNSアカウント運用」では、企業・ブランドのSNS公式アカウントの企画・コンサルティングを含めた運用代行を行っております。

「インターネット広告販売」では、ソーシャルメディア関連広告を中心とした、他社の広告商品の販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、インフルエンサーサービス及びその他のインターネット広告販売の伸長により、四半期売上高は過去最高を更新いたしました。

以上の結果、SMM事業の売上高は1,954百万円（前年同期比59.1%増）、営業利益は503百万円（前年同期91.4%増）となりました。

②その他

その他では「HR事業」「ライブ配信プラットフォーム事業」「新規事業開発」を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、売上高は101百万円（前年同期比9.6%減）、営業損失は13百万円（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

（注1）出典：株式会社電通「2022年 日本の広告費」

（注2）出典：サイバー・バズ/デジタルインファクト調べ「2022年 国内ソーシャルメディアマーケティングの市場動向調査」

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が370百万円増加し、現金及び預金が190百万円減少したことによるものであります。固定資産は730百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。これは主にはのれんが15百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,457百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主に買掛金が4百万円減少したことによるものであります。固定負債は350百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が27百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,807百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ185百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が175百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.1%（前連結会計年度末は42.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月8日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、2024年9月期の連結業績予想に与える新型コロナウイルス感染症の影響は、軽微であると考えております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,365,645	1,175,070
受取手形及び売掛金	2,896,355	3,266,726
貯蔵品	970	997
その他	87,239	77,689
流動資産合計	4,350,210	4,520,483
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	59,992	59,992
減価償却累計額	△32,850	△41,954
建物附属設備 (純額)	27,141	18,037
工具、器具及び備品	73,410	73,715
減価償却累計額	△47,461	△52,493
工具、器具及び備品 (純額)	25,948	21,221
有形固定資産合計	53,090	39,259
無形固定資産		
のれん	246,030	230,653
ソフトウェア	29,986	28,296
顧客関連資産	98,455	90,704
その他	66,327	71,848
無形固定資産合計	440,799	421,502
投資その他の資産		
投資有価証券	48,732	70,732
繰延税金資産	38,497	29,732
敷金及び保証金	135,022	139,175
その他	34,839	30,472
投資その他の資産合計	257,091	270,112
固定資産合計	750,981	730,874
資産合計	5,101,192	5,251,358

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,910,754	1,906,285
1年内返済予定の長期借入金	108,000	108,000
契約負債	31,466	40,188
未払金	92,681	100,386
未払法人税等	118,919	116,325
未払消費税等	90,914	88,744
ポイント引当金	8,380	7,520
その他	98,550	89,562
流動負債合計	2,459,666	2,457,013
固定負債		
長期借入金	330,000	303,000
繰延税金負債	53,054	47,715
固定負債合計	383,054	350,715
負債合計	2,842,720	2,807,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,121	478,121
資本剰余金	478,121	478,121
利益剰余金	1,215,322	1,390,955
自己株式	△32,647	△32,647
株主資本合計	2,138,916	2,314,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,186	2,186
その他の包括利益累計額合計	2,186	2,186
新株予約権	117,368	126,894
純資産合計	2,258,471	2,443,630
負債純資産合計	5,101,192	5,251,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,340,677	2,056,371
売上原価	734,772	1,209,927
売上総利益	605,905	846,444
販売費及び一般管理費	524,728	561,556
営業利益	81,177	284,888
営業外収益		
ポイント収入額	1,369	693
助成金収入	3,592	—
雑収入	81	21
営業外収益合計	5,043	714
営業外費用		
支払利息	778	465
雑損失	0	0
営業外費用合計	778	465
経常利益	85,441	285,136
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8,000
特別損失合計	—	8,000
税金等調整前四半期純利益	85,441	277,136
法人税、住民税及び事業税	27,433	98,078
法人税等調整額	11,991	3,425
法人税等合計	39,424	101,504
四半期純利益	46,016	175,632
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,016	175,632

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	46,016	175,632
四半期包括利益	46,016	175,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,016	175,632

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2022年10月7日に行われた株式会社WithLIVEとの企業結合について前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、販売費及び一般管理費が4,824千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ4,824千円減少しております。また、法人税、住民税及び事業税が1,477千円増加、法人税等調整額が4,467千円減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,834千円減少しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SMM事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,228,336	112,341	1,340,677	—	1,340,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	220	95	315	△315	—
計	1,228,556	112,437	1,340,993	△315	1,340,677
セグメント利益又は損 失(△)	262,982	△823	262,158	△180,981	81,177

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、D2C事業、HR事業、ライブ配信プラットフォーム事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△180,981千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間に、株式会社WithLIVEの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、その他において、のれんが発生しております。暫定的に算定された当該事象によるのれんの増加額は444,710千円でありましたが、取得原価の配分が完了した結果、307,538千円となっております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SMM事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,954,814	101,557	2,056,371	—	2,056,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	783	783	△783	—
計	1,954,814	102,341	2,057,155	△783	2,056,371
セグメント利益又は損 失(△)	503,271	△13,585	489,686	△204,798	284,888

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR事業、ライブ配信プラットフォーム事業、新規事業開発を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△204,798千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。